



サステナブル地域づくりフォーラム案内

持続可能で自立した地域づくりを目指して～in葛尾村復興交流館～

第6回サステナブル地域づくりフォーラムを以下のように開催いたします。今回は葛尾村復興交流館を会場に、昨年度の活動内容や新たな話題を提供します。どなたでも聴講できますので、皆様お誘いの上ご参加ください。

記

■日時：令和元年 7 月 31 日 (水) 14:00～

■会場：葛尾村復興交流館

■行程 12:30 ビッグパレットふくしま 出発 ※12:20 までに集合してください。

14:00 コーディネーターからの話題提供及び意見交換 (葛尾村復興交流館)

(1) 「ロハスビレッジかつらおの実現に向けた全体構想と社会インフラからのアプローチ」

講師：日本大学工学部土木工学科 岩城一郎教授

(2) 「グリーンインフラによる復興支援 ～花壇による汚水の多目的利活用～」

講師：日本大学工学部土木工学科 中野和典教授

(3) 「復興・地域のための拠点づくりー単体から複合へー」

講師：日本大学工学部建築学科 浦部智義教授

(4) 鳥獣との共生を目指す 3D マップかつらお

講師：日本大学工学部情報工学科 中村和樹准教授

15:30 復興交流館の視察

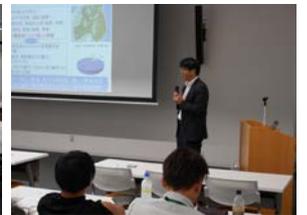
16:00 葛尾村役場 出発

17:30 ビッグパレットふくしま 到着・解散

■主催：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構、日本大学工学部工学研究所、須賀川市

■詳細・お申し込み：チラシ及び下記の申込書をダウンロードし、FAX またはメールでお申込みください。

<https://www.techno-media.net6.or.jp/techno/event/2175/>



昨年のフォーラムの様子

産学連携製造技術人材育成事業

マイスターズ・カレッジ2019 を開催

マイスターズ・カレッジは、企業、大学等高等教育機関、産業支援機関等との産学連携により、基盤技術高度化を図る研修事業を実施し、製造現場等の中核人材育成を通じて企業の付加価値を高めるために、平成 18 年度から毎年開催しています。

今年度は、日本大学工学部、民間事業者と共に、実践的な「イノベーションマスターコース」を実施いたします。

「イノベーションマスターコース」は、福島県の成長産業の一つであるロボットをテーマにニューメディア・コミュニティ事業と連携し、FA、IoT を実践し、将来の Sier 候補者となる実務者を育てる講座を行います。

講座には、産業用ロボットを操作するために欠かせない安全衛生特別講習のカリキュラムも入っておりますので、是非ご参加ください。

お申し込み方法など詳しくは、後日、当機構ウェブサイトまたはチラシをご覧ください。

記

■日程：令和元年 8 月 20 日 (火) ～11 月上旬

■会場：郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

■参加費：10,000 円

イノベーションマスターコース

～ロボット・FA・IoT の実践～

■定員：10 名

■対象：自社の製造工程の生産性向上において、IT/IoT の活用を検討されている方、工場の自動化に取り組んでいる方

■主催：公益財団法人郡山地域テクノポリス推進機構

■共催 (予定)：日本大学工学部、安川電機、ロボット FA コム他

NUBIC(日本大学産官学連携知財センター)とのキックオフ会議実施

令和元年 6 月 7 日 (金) 午後 3 時より、ものづくりインキュベーションセンター会議室に於いて、日本大学と今年度の事業計画について協議する“キックオフ会議”を開催いたしました。

この会議は、日本大学が有する知的財産を広く活用して地域産業の振興を図ることを目的に、NUBIC、日本大学工学部、当機構の三者で締結した覚書に基づいて毎年実施されています。

今年度も引き続き、毎月第 4 水曜日の技術相談“NUBIC 郡山サテライト”の実施や、“出前セミナー in 企業”の開催を行うこと、更に NUBIC 郡山サテライトの利用促進を図るために、NUBIC、日大工学部、当機構の三者は、相談窓口の運営について積極的に広報を行うことを確認しました。

※平成 30 年度実績：8 件



NUBIC 郡山サテライトの様子

郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議 ～総会、企業製品・研究成果等発表会～

企業連携のための事業計画が固まる

6月5日(水)、ホテルハマツにおいて郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議の総会を会員等30名の出席のもと開催しました。

会では、平成30年度事業報告及び収支決算、令和元年度事業計画及び収支予算について、原案のとおり承認されました。また、令和元年度の役員については右記のとおりです。

総会終了後、約50名に参加いただき、企業製品・研究成果等発表会を開催し、会員企業であるアルファ電子(株)と(株)アサカ精機の企業紹介、NUBIC(日大知財センター)の案内を行いました。

アルファ電子(株)からは、特定の顧客、特定の業種に傾向していた過去の反省から医療機器をはじめとする成長分野など多岐にわたる事業展開を進めているほか、女性の管理者が多数いるなど働き方に対する先進的な紹介がありました。

また、(株)アサカ精機からは、大手企業からの下請け体質の脱却を図るため、高い技術力を活かした医療機器分野への新規参入などの紹介をいただきました。

その後は、同会場において懇親会を開催し、会員同士の情報交換が行われました。

令和元年度役員 (敬称略)

最高顧問	高木茂保	エスケー電子工業(株)	取締役相談役
会長	林 明博	林精器製造(株)	代表取締役社長
副会長	大槻 努	作田電機(株)	代表取締役社長
委員	吉田尚正	(株)吉城光科学	代表取締役
委員	水上哲夫	(有)ぱすわーど	代表取締役
委員	桑原勝幸	(株)リゾーム	代表取締役社長
委員	神田雅彦	神田産業(株)	代表取締役
委員	森尾和衛	日本全薬工業(株)	専務取締役
委員	高橋晃一	(株)アーバン設計	代表取締役
委員	高島伸幸	(有)エスク	代表取締役
監査	吾妻柄穂	日ノ出工機(株)	顧問
監査	遠藤正成	(株)北斗型枠製作所	代表取締役



原案どおり可決されました(総会)



企業製品・研究成果等発表会

平成30年度決算を承認

6月7日(金)に令和元年度第1回理事会を開催し、平成30年度事業報告と決算が承認されました。さらに、6月27日に定時評議員会を開催し、平成30年度事業、同決算と令和元年度事業計画、収支予算が承認、了承されました。

会議では、ものづくりインキュベーションセンターの一層の活用や産学官連携の積極的推進、今後の機構運営などについて議論されました。



インキュベーションセンター 入居者交流会報告

5月27日(月)午前11時から会議室において、入居者交流会を開催しました。齋藤隆常務理事のあいさつに続き、各入居者からそれぞれ取り組んでいる事業内容の紹介がなされました。

機構側からもインキュベーションセンターが持つ機能を十分に活用してほしいことや、また入居者同士によるアライアンスが生まれた事例もあることから、それぞれの研究課題の深堀に加えて、交流も大事にしてほしい旨の話をしました。

今後とも、研究テーマの成功と交流による新たな展開が生まれることを期待したいと思います。



齋藤常務あいさつ



入居者からの説明



食事後名刺交換及び歓談

今月のコラム (シニアアドバイザー 門脇修一郎)



数か月前に郡山西ロータリークラブで講演する機会がありました。昨年は本庶佑先生のノーベル賞で盛り上がりましたが、我々動物薬の世界の人間にとっては2015年の大村先生の受賞はさらに大きな出来事でした。この2人の先生の業績を振り返りながら「2つのノーベル生理・医学賞が繋ぐ動物薬と人体薬」というタイトルで話をさせていただきました。

大村先生が発見したイベルメクチンはフィラリアの特効薬としてイヌの寿命を倍に伸ばしました。さらにヒトに応用されて河川盲目症や象皮症のような悲惨な病気から多くの患者を救いました。本庶先生が発明したオブジーボは免疫力を利用した画期的な抗がん剤ですが、動物薬への応用を目指して日本全薬を始め世界中が競争の真っただ中です。「動物薬を作ることは人体薬を作ること、人体薬を作ることは動物薬を作ること」だと実感します。日本全薬は動物薬の開発を通じて動物と人間の健康と幸福への貢献を目指します。

発行元 (公財)郡山地域テクノポリス推進機構/郡山地域ニューメディア・コミュニティ事業推進協議会

TEL 024-947-4400 FAX 024-947-4475 E-mail techno@nm.net6.or.jp

郡山地域テクノポリスものづくりインキュベーションセンター

TEL 024-926-0344 FAX 024-943-4441 E-mail monodukuri@nm.net6.or.jp

